

いわせほっとニュース

<http://www.iwase-hp.jp/> 発行日 2016年12月20日

〔公立岩瀬病院の基本理念〕

患者さん中心の医療を実践し、地域の皆さんに信頼される病院をめざします。



10月9日に第13回病院フェスティバルを開催しました。ご来場いただきありがとうございました。
(関連記事は3ページに掲載しています。)

目次

- | | |
|-----------------------------|----------------------------------|
| ◆ オープンシステム総会開催 2 | ◆ 幼稚園児来院 5 |
| ◆ 産科婦人科診療棟の建設工事 2 | ◆ 院内職場紹介
「リハビリテーション科」 5 |
| ◆ 病院フェスティバル開催 3 | ◆ 病院用語ナビ『生年後見制度』 6 |
| ◆ 新任医師紹介 4 | ◆ 健康レシピ 6 |
| ◆ 慢性腎臓病 (CKD) について① 4 | |
| ◆ シリーズ チーム医療 ⑪ 5 | |



オープンシステム総会開催

平成28年11月10日(木)、グランシア須賀川を会場に公立岩瀬病院オープンシステム総会を開催し、地域の医療関係者や病院職員ら約200名が参加しました。これは、オープンシステム登録医をはじめとし、病病連携や病診連携、また医療・介護連携の一層の向上を目指し毎年開催しているもので今年で16回目となりました。

総会では、はじめに伊東幸雄企業長が建設中の産科婦人科病棟の進捗状況について、現在進捗率が78%で来春のオープンに向けて順調に準備を進めているとあいさつしました。三浦純一病院長、高橋清二須賀川医師会長のあいさつに続き勉強会を開催し、橋本慶太整形外科部長と柳田知彦泌尿器科部長がそれぞれ講演を行いました。

橋本慶太整形外科部長は、県内でも数少ない「足の外科」を専門としており、外反母趾などに対する足関節鏡手術の写真等を用いて分かりやすく説明しました。また、柳田知彦泌尿器科部長は、専門分野である腎細胞がん等に対する最新の治療法などを紹介し、今後の当地域での医療連携について抱負を述べました。その後懇親会を開催し、福祉や介護、行政など他職種の関係者らが意見交換し交流を深めました。



講演する橋本慶太整形外科部長(写真上)と柳田知彦泌尿器科部長(写真下)



「産科婦人科診療棟」建設工事の進捗状況

病院建設対策室 鎌田大輔



建物の完成予定の2月まで、残り工事期間が3か月を切りました。建設現場では、仕上げ工事が最盛期となっており、建築内装や設備工事の熟練職人さん達が手際よく工事を進めています。工事受注者の(株)安藤・間の佐藤所長は、「安全はすべてに優先する」をモットーに無事故・無災害で工事を指揮しています。

工事は、屋上防水、外壁タイル、外部サッシ取付け、耐火・断熱被覆、内部壁建込み、建具取付けなどが完了し、現在、天井、壁クロスや塗装仕上げ、電源・情報ケーブル、給排水配管、空調ダクト、設備機器設置などが施工され、建物の完成に向けて着実に工事が進められています。白い防音シートで囲われた外部足場は、タイル工事の完了とともに上部から撤去されて、新しい生命の誕生を出航する船にイメージした建物の外観が現れてきました。

また12月には、歩行者通路や駐車場スペース、雨水排水などの外構整備工事も始まりました。工事期間中は外来駐車場の利用にご不便をおかけしています。建物の完成と診療の開始に向けて、皆様のご理解とご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。



内視鏡手術体験コーナー



血糖測定コーナー

第13回 病院フェスティバル

公立岩瀬病院フェスティバルは地域住民の皆様に病院を開放し、病院職員とふれあい公立岩瀬病院を身近に感じていただくことを目的に開催しております。今年も10月9日(日)に『元気で長生き宣言!～楽しく笑って健康長寿～』というテーマを掲げ、第13回目となる公立病院フェスティバルを開催しました。

特別講演では座長の三浦院長の下、研修医2年目の波多野裕理先生と研修医1年目の鈴木哲司先生が「めざそう健康長寿」をテーマに午前と午後の2回に分けて講演を行いました。また、外部からの出展として後藤新平の会による講演、アクアマリンふくしまからのくらの展の展示やお話、ヨガセラピー、はたけんぼによる販売コーナーなど、たくさんのイベントにご協力いただきました。院内からの出展としては、健康相談や子ども調剤薬局、顕微鏡での細菌観察、救急車搭乗体験、内視鏡手術体験コーナー、各種医療機器の展示、建設現場見学ツアーなど、様々なイベントを実施しました。

今年は、産科・婦人科診療棟を建設中ということもあり例年と比べて少し規模を縮小した形での開催となりましたが、当日は500人以上の方々にお越しいただくことができました。ご来場いただいた皆様ありがとうございました。



手洗い教室コーナー



健康講演



子ども調剤薬局コーナー



建設工事現場見学ツアー

新任医師紹介



氏名：柳田 知彦（やなぎだ ともひこ）

職名：泌尿器科部長 出身：福島県郡山市

地域の皆さんへのひとこと

泌尿器科では、おもに腎臓や尿路の腫瘍や結石、排尿の問題などを治療しています。ほかにお子様の排尿の問題、女性に多い排尿の問題、精巣などの男性特有の問題も診療しています。健康診断で腎臓や尿路に異常あると言われた、腎臓あたりの痛みがある、血尿が出た、尿が出にくい・近いなどの症状があるときには、お気軽に泌尿器科外来にご相談ください。



氏名：工藤 新吾（くどう しんご）

職名：小児科医員 出身：北海道札幌市 趣味：登山、ラジオ

地域の皆さんへのひとこと

福島県の子どもの健康と幸せのために尽力いたします。どうぞお気軽にご相談ください。



氏名：藤田 将史（ふじた まさし）

職名：消化器内科医員 出身：福島県福島市 趣味：旅行、読書

地域の皆さんへのひとこと

誠心誠意をもって診療にあたって参ります。よろしくお願ひ致します。



氏名：春日 裕介（かすが ゆうすけ）

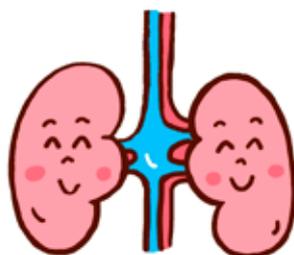
職名：総合診療科医師 出身地：福島県須賀川市 趣味：釣り

地域の皆さんへのひとこと

このたび、10月から生まれ育った須賀川に戻ってることになりました。今後は皆さんとともに地域に密着した医療を行っていきたいと考えております。よろしくお願ひします。

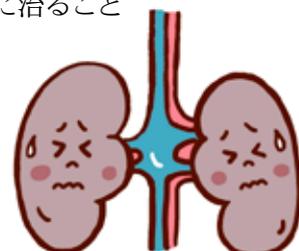
慢性腎臓病（CKD）について ①

透析看護認定看護師 大星 知佳



慢性腎臓病（CKD）とは、慢性に経過するすべての腎臓病を指します。患者さんは1,330万人（20歳以上の成人の8人に1人）いると言われる、あらたな国民病です。初期には自覚症状がほとんどありません。それがCKDの怖いところで、患者を増加させる原因でもあります。そして、一度あるレベルまで悪くなってしまうと自然に治ることはありません。

そこで腎臓についてどのぐらいご存じですか。腎臓は、そら豆のような形をした握りこぶしぐらいの大きさの臓器で、腰あたりに左右対称に2個ありとても大きな働きをしています。血液の老廃物の排泄、水分や電解質のバランスを調整し体内を一定の環境に維持しています。また血圧を維持するホルモンや血液を作る造血ホルモンをつくり、血圧の調整、貧血を予防したり、骨の量や質の維持、カルシウムバランスの維持に努めています。



シリーズ チーム医療 ⑪ 『自分の科から見るチーム医療について』

5病棟 国分 美知子



5階病棟を紹介します。8月から、7階病棟が包括病棟に変更になり5階病棟は、消化器疾患、心疾患、肺疾患と内科全般の急性期の患者さんの入院を受け入れています。

入院患者さんも高齢化となり80歳代が入院患者さんの二分の一を占めます。自宅では、日常生活を送っていた方も入院することにより思いがけない行動をとったりします。

そのため、入院時から退院調整を行い、医師の指示のもと看護師・ソーシャルワーカー・管理栄養士・薬剤師・リハビリスタッフと連携をとり、患者さんが退院後困らないように、いろいろな角度から援助しています。

かわいい招待状が届きました

10月24日10時、須賀川幼稚園の25名の園児の皆さんが、11月1日(火)に幼稚園で開かれる「勤労感謝の日の集い」の招待状を手渡しに先生方と一緒に来院されました。

総合案内前にて、「看護師さん!幼稚園に来て下さい!」と元気な大きい声で招待を受け、園児の皆さんが書いた招待状を受け取りました。園児の皆さんはにこにことし、受付前にある「ミズクラゲ」を珍しそうに眺めながら元気に帰って行きました。

「勤労感謝の日の集い」には、小児病棟から1年目の新人看護師が参加し、園児の皆さんに10分~15分程度「看護師の仕事」をお話し、一緒に楽しいひと時を過ごしました。将来、ぜひ看護師になることを期待したいですね。



部署紹介

《リハビリテーション科》

当院のリハビリテーション科は現在、理学療法士(P T) 7名、作業療法士(O T) 4名、言語聴覚士(S T) 1名の12名のスタッフで運用しております。

主に整形外科や外科の術後、内科疾患の廃用症候群等を対象に急性期病院の一端を担っております。更に、地域包括ケア病棟を立ち上げたことにより、益々リハビリの関わりが重要となってきています。少しでも地域包括ケアシステムに寄与できればと考えています。また最近では高齢化により誤嚥性肺炎が増えている中、S Tの入職により、嚥下内視鏡検査(V E)や嚥下造影検査(V F)を行い、積極的に摂食嚥下訓練に力を入れております。



今後も地域の皆様に活用して頂けるようリハビリテーション科にしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



～「成年後見制度」とは～

認知症、知的障害、精神障害などの理由で自分で判断することが不十分な方の日常生活を法的に保護する仕組みです。本人または親族(身寄りがないときは市町村)が、住所地を管轄している家庭裁判所に申し立てを行い、手続きをします。

家庭裁判所が、ご本人にとってどのような保護や支援が必要かを考慮して、その方を援助してくれる後見人を選任します。その後見人が、その方に代わって、不動産や預貯金などの財産を管理したり、介護サービスや施設への入所に関する契約を結んだり、悪徳商法にだまされたときに取り消したりします。こうしてその方の財産や権利を守っていく制度です。

ご心配がある方は地域包括支援センターなどにご相談ください。



健康レシピ

コレステロールが気になる方へ

「ふわふわつくねのスープ煮」

一人分 エネルギー/262kcal 蛋白質/20.2g 脂質/15.8g
炭水化物/11.5g 塩分/2.6g



《材 料》(1人分)

【いわしつみれ】

- ・いわし(内臓、骨、皮を取り除き、包丁でたたいたもの) 80g
- ・豆腐 20g
- ・長ねぎ(みじん切り) 30g
- ・生姜(すりおろし) 3g
- ・白すりごま 小さじ2
- ・醤油 小さじ1
- ・ごま油 小さじ2
- ・塩コショウ 適量

【スープB】

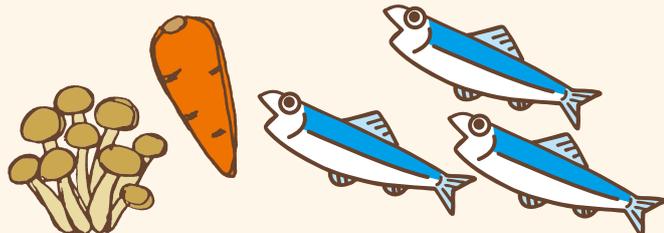
- ・水 200g
- ・鶏ガラスープの素 小さじ1
- ・生姜 1g
- ・塩コショウ、ごま油 適量

【スープ用野菜】(お好みで)

- ・人参 30g
- ・しめじ 30g
- ・春菊 20g

作り方

- ①いわしつみれの材料すべてを粘り気が出るまでよく混ぜる。
- ②たっぷりのスープ(分量外)を煮立て、①で混ぜたつみれをスプーンですくって入れる。
煮崩れしないように、しばらく加熱してからいったん取り出す。
- ③スープBに野菜を入れて煮る。
- ④つみれを鍋に戻し、盛り付ける。



いわしなどの青魚には多価不飽和脂肪酸である、EPAやDHAが豊富に含まれており、コレステロールや中性脂肪を減らし、動脈硬化予防などに効果があると言われています。
つくねに豆腐を加えることで、食感がより柔らかくなります。

編集・発行 公立岩瀬病院 広報委員会(広報誌発行部会)

〒962-8503 福島県須賀川市北町20番地

Tel 0248-75-3111 Fax 0248-73-2417 E-mail koho@iwase-hp.jp